桃園小学校・向台小学校統合委員会　要　点　記　録

第　８　回

開　催　日　時		平成 29 年 10 月 12 日(木)　午後６時 30 分～７時３５分
開　催　場　所		向台小学校　会議室
出席者	委　員	金田一榮、小平一位、川本豊、加藤洋右、吉田昌平、 大島由美子、越坂部千明、瀧本和江、木下克美、清水好博、 岩本昌夫、阿部正幸、奥愛、高木庸子、田中憲治、中村明子、 井上江見子、松久保雅和、板垣淑子、石原千鶴 （敬称略、順不同）
	事務局	学校再編担当
会　議　次　第		【議事】 １　統合新校の校名について ２　その他

第８回　桃園小学校・向台小学校統合委員会　　会　議　要　旨

委員長
　定刻となったため、これより第８回学校統合委員会を開会する。本日、傍聴者がいるため、許可を諮りたい。
―異議なし―
委員長
　傍聴者は、傍聴券の裏側に記述されている注意事項を守り、議事の進行を妨げないようにお願いする。議事に入る前に、報告事項が２点ある。まず、統合委員会委員に変更があった。事務局の説明を求める。
事務局
　東部地区町会連合会推薦の青木平四郎委員が辞任され、今回新たに大石直臣委員が委嘱された。新委員名簿があるので確認してもらいたい。大石委員は本日欠席のため次回あいさつを頂く予定である。
委員長
　続いて、統合新校の新校舎の基本設計について情報提供がある。
区担当
　統合新校の新校舎の基本設計の策定を進めている。昨年度策定した基本構想・基本計画の中で一足制について検討していくということを示していたが、検証を進めた結果、一足制を導入する方向で施設整備の設計を進めている。基本設計の詳細については次回の統合委員会で案を示し説明する。
委員長
　一足制というのは、上履きに履き替えないで下足のまま校舎に入り学校生活を送るという理解で良いか。
区担当
　そのとおりである。

委員長
　質問等あるか。ないようであれば、議事(1)の統合新校の校名について、事務局の説明を求める。

１　議　事

議事（１）統合新校の校名について

■資料「校名募集の絞り込み結果について（１回目）」事務局から説明
　応募のあった１６３件から委員が良いと思うものを５つ以内で選んで郵送した。その結果、以下のとおり３１件に絞られた。番号は前回の資料の番号を引き継いでいる。校名について、正式名称の「中野区立〇〇小学校」と読み上げた。

校名若しくは理由が、桃園・向台小学校と関係するもの					
10	桃源台	とうげんだい	40	桃台	ももだい
11	桃向	ももこう	44	桃の木台	もものきだい
35	桃園	ももぞの	48	桃台	もものだい
36	桃園台	ももぞのだい	49	ももの台	もものだい
37	桃園第一	ももぞのだいいち	50	桃ノ台	もものだい
39	桃園向台	ももぞのむこうだい	51	桃の台	もものだい
地名に関係するもの					
57	朝日ヶ丘	あさひがおか	77	中野中央	なかのちゅうおう
58	神田川	かんだがわ	79	中野本町	なかのほんちょう
70	中新	なかしん	80	中野弥生	なかのやよい
72	中野	なかの	83	本町弥生	ほんちょうやよいの
73	なかのあさひ	なかのあさひ	87	山手	やまて
75	中野坂上	なかのさかうえ	89	弥生	やよい
76	中野第一	なかのだいいち	92	弥生第一	やよいだいいち
自然等に関係するもの					
96	青葉	あおば	98	桜	さくら
97	朝日	あさひ			
その他　①応募理由が記入されたもの					
120	奏	かなで	157	陽徳	ようとく

委員長
　今、説明のあった内容について意見・質問等あるか。
委　員
　83 番「本町弥生」は読み仮名に「ほんちょうやよいの」と最後に「の」が入っている。これはなぜか。
事務局
　応募時の読み仮名が「ほんちょうやよいの」になっていたため、そのままにしている。
委　員
　了解した。
委　員
　資料の主な説明（理由）が空欄になっている校名があるのはなぜか。
事務局
　今回の資料の主な説明（理由）は、委員が校名を選んだ時に書いた理由を要約して記載した。校名を選んだ時に理由が書いてないものは空欄になっている。
委員長
　他に意見・質問等あるか。ないようであれば、今回も校名を絞っていく必要があるため、選定方法や、良いと思う校名等について意見を聞いていきたい。
委　員
　「校名若しくは理由が桃園・向台小学校と関係するもの」か、「地名に関係するもの」から選んでいくのが良いと思う。それ以外の「自然等に関係するもの」、「その他」は個人的にはあまり良いと思わない。
委　員

校名の最初に「中野」と付いているものが良いと思っている。中野で一番古い小学校である桃園小学校が統合するため、中野を代表するという意味を込めて「中野」と付けたい。そうすると、75 番「中野坂上」、76 番「中野第一」、77 番「中野中央」、79 番「中野本町」、80 番「中野弥生」が良いと思う。

委　員

76 番「中野第一」を推している。理由は桃園小学校が中野区で一番にできた小学校だということを伝えていきたいからである。ただ、先日桃園小学校の同窓会に出席し、統合によって校名が変わるという説明したが、他の卒業生はあまり興味がないようであった。その時に、統合新校はこれから学校の歴史を作っていくので、校名はどんなものになっても良いのではと感じた。皆が納得して決めていくことが一番大事だと思う。

委　員

やはり両校の歴史を残すような校名から選ぶのが良いと思う。また、「もものだい」という同じ読み仮名のものが４つ残っているので、この中でどれにするか選ぶと数も減ると思う。

委　員

先ほど事務局が中野区立〇〇小学校と正式名称で読み上げたのを聞いて、音の響きも大切にしたいと思った。10 番「桃源台」は理由は良いのだが、ぱっと聞いた時に漢字を想像できなかった。できれば、素直に「もも」と読む校名を選びたい。また、地名に関係する校名も分かりやすくて良いと思う。それ以外のものは、新興住宅地にある学校をイメージしてしまい、あまり良いと思わない。歴史のある地域・学校なのでそれらを重んじた校名にしたい。

委　員

種類別になっているのでその中で良いものを選んでいくと選びやすいと思う。良いと思う校名が多くあるため、ここから選ぶのは難しい。委員の意見を聞きながら考えをまとめていきたい。

委　員

前回良いと思う校名を５つ以内で選ぶことになったが、現在の校名と関係のないものから２つ、関係のあるものを１つ選んだ。

現在の校名と関係のないものから選んだ理由は、１つ目は「統合」の意味を考えたからである。統合はどちらか一方の学校を廃止するのではなく、両校を廃止して新たな学校を設置するということであるため、「新しい学校でも子どもたちがすくすく育ち、未来ある学校になってほしい」という子どもたちへの思いやメッセージを込めた校名が良いと思った。２つ目は、向台小学校の周年行事の一環で子どもたちに向台小学校や地域の歴史を語る授業があった。子どもが家に帰ってきて、「向台小学校にはこんな歴史があるんだよ」と楽しそうに語る姿を見て、校名に残さなくても歴史はきちんと継承されていくと感じたからである。３つ目は、前回の統合委員会の後、ＰＴＡや児童と校名に関して話をする機会があったが、その話の中で多かったのは「桃園」という校名は吸収合併のようで悲しい、向台の名前だけなくなるのは寂しいという意見だった。また、「桃台（もものだい）」等のように「桃」が先に来るのは嫌だという子どもらしい素直な意見もあった。このような理由から、現在の校名に関係のない校名の 97 番「朝日」と 157 番「陽徳」を選んだ。97 番の「朝日」を選んだ理由は、募集理由に同感したのと、朝日のように太陽が昇りゆく様子は児童が成長する姿にぴったりと思ったからである。157 番の「陽徳」を選んだ理由は募集理由に同感したからである。

また、両校の校名に関係のあるものを１つ選んだのは、ＰＴＡの中で両校の卒業生がいて自分が卒業した名前がなくなってしまうのは寂しいという意見もあったからである。両校の校名に関係するものの中で良いと思ったのは 49 番「ももの台」である。「桃」を平仮名にすることで、「桃」と「台」のどちらが先に来るかというものが薄れるように思う。応募の理由にもあったが、百（もも）年の大台を超える伝統校だということを含めるのと同時に、今後百年以上続く学校になってほしいという思いも込められると思う。

委　員

皆でこのように話し合えば良い校名が選ばれると思う。平仮名でも地名でも皆で決めたものに

賛成したい。ただ、先ほどの意見で「桃」と「台」のどちらを先につけるかということがあったが、そういうことではなく桃園小学校という歴史を鑑みて、「桃」が先につくということに関しては、考えてもらいたい。また、読んだ時も「台桃」より「桃台」の方が読みやすいと思う。

委　員

36 番「桃園台」が良いと思う。桃園というのは中野区の学校の歴史そのものを表している言葉なので、中野区が大事にしなければならない言葉である。そういう歴史や古いものを残していくということも今の時代には大切なことであると思う。中野区で町名の変更を行った時、古い町名をほとんど消してしまった。校名と町名の考え方は違うのかもしれないが、よく考えてもらいたい。

委　員

正式名称では「中野区立」が入るので、さらに中野とつける必要はないと思う。優先しなければならないのは、子どもたちの気持ちである。自分が通っている学校の校名を聞かれたときに、楽しい発音でぱっと出るようなものが良いと思う。そうすると、「もものだい」が言いやすいし楽しい感じがする。両校の校名も残せ、子どもや地域に愛されると思う。漢字はどれでも構わない。

委　員

校名を決めるために委員の考え方を一本化した方が良いと思う。両校の名前を残すのか、地名に関係するものか、あるいは新しい名前にするのか、これまでの意見では大きく分けてこの３つの考え方があったと思う。この中から大筋の考えを話し合って決めるべきである。一つ一つの校名の理由に関しては皆の思いがあって非常に良いと思ったが、共通認識があればもっとスムーズに協議できると思う。

委　員

種類を分けているので、どの中から選ぶのかをはっきりさせた方が良いと思う。個人的には、「校名若しくは理由が、桃園・向台小学校に関係するもの」の中から選ぶのが良い。「自然に関係するもの」や「その他」については、学校がいきなり全く関係のない校名になるとびっくりしてしまう子どもがいるかもしれないので、子たちにとって違和感のない校名にしたほうが良いと強く思う。

委　員

やはり桃園小学校の「桃」と向台小学校の「台」を１字ずつ入れたいと考えている。子どもが 50 番「桃ノ台」を気に入っている。「桃」が先にくる理由も、桃園小学校の歴史について説明したところ納得していたので、どちらが先ということで揉めるということはないと思う。

委　員

学校は地域から望まれて、地域とともにあるというのが一番大切である。そういう意味でも、地域の方々が良いと思う校名にしてもらいたい。加えて、子どもに校名の理由についてきちんと説明ができるものが良いと思う。以前、白桜小学校に勤務していたが、白桜小学校は元の東中野小学校と中野昭和小学校とは全く違う名前に決まった。それでも子どもたちは校章・校歌などを通して違和感なく受け入れてくれていたので、必ずしも今の校名を入れなければならないということはないと思う。学校として、地域と子どもたちと共にいられる校名を考えていければと思う。

委　員

どれも素敵な名前なので、子どもたちはどれになっても嬉しく思ってくれるだろう。基本的には地域の方の意見で決めるべきだと思っているが、前回今回と意見を聞いていく中で、「もものだい」という読み仮名の中から選べると良いと思った。統合して２校が一緒になるので、「桃」と「台」はどちらが先ということではなく、子どもたちがこれまで大事にしてきた桃園小学校・向台小学校という名前が入っていると安心かと思う。

委　員

校名は読みやすくて分かりやすいものが良いと思う。また、教員の立場からは中野区内や中野区以外の東京都内の子どもや学校の先生方が、どこにあるか分かるような地名も良いと思う。

委　員

地域で育ったという歴史が残っていくこと、将来子どもたちが世界に羽ばたいていく、そんなイメージの校名が良いと思っている。イメージはできているがなかなか絞るのが難しいので、もう一度絞り込みをしてもらいたい。

委員長

やはり、「校名若しくは理由が、桃園・向台小学校と関係するもの」や、「地名に関係するもの」から選ぶのが良いと思う。今回、３つ選んだがその１つが 35 番「桃園」である。中野・杉並の教育の歴史にとって大事な名前であるため、残すべきであると思っている。あとは「中野第一」と「桃園第一」が理由も含めて良いと思っている。

これで出席している全員の意見を聞いた。絞り込み方についても意見を出してくれていたが、今日は何個くらいまでに絞れば良いのか。

事務局

31 個あるので、できれば 10 個以下ぐらいになると次回の協議がやりやすいと思う。

委員長

了解した。絞り込み方について再度意見があればお願いしたい。

委　員

先ほどの意見にもあったが、校名に関する考え方についてもう少し協議をしたらどうか。

委　員

まだ数が多いのでもう一度投票したい。あと２回は協議の場があるということだ。

委　員

同じくもう少し絞り込むために投票を行いたい。

委員長

それでは、投票という意見がでているが如何か。

ー異議なしー

委　員

投票は挙手以外のやり方で行ってもらいたい。

委　員

一人いくつ選ぶのか。

委　員

前回５つだったので、３つくらいが良い。

委　員

「もものだい」という読み方のものが４つある。これは今の段階では同じものとして考えたい。

委員長

「もものだい」は、集計した結果をまとめてもらいたい。一応どの書き方が良いか番号を選んでもらいたい。それでは一人３つ以内で、無記名で投票をお願いしたい。

（投票・集計）

委員長

事務局から集計結果を発表してもらいたい。

事務局

番号順に発表する。35 番「桃園」が３票。36 番「桃園台」が５票。37 番「桃園第一」が５票。39 番「桃園向台」が２票。40 番「桃台」が１票。もものだいという読み仮名の 48・49・50・51 番は合わせて 13 票。57 番「朝日ヶ丘」が１票。72 番「中野」が１票。75 番「中野坂上」が２票。76 番「中野第一」が７票。77 番「中野中央」が１票。79 番「中野本町」が２票。83 番「本町弥生」が１票。87 番「山手」が１票。89 番「弥生」が１票。96 番「青葉」が１票。97 番「朝日」が６票。157 番「陽徳」が１票。以上。

委員長

結果として票がかなり割れてしまった。提案だが、複数票が入ったものを校名候補として次回協議するということで如何か。

―異議なし―
委員長
　それでは、複数票入った、35 番「桃園」、36 番「桃園台」、37 番「桃園第一」、39 番「桃園向台」、もものだいという読み仮名の 48・49・50・51 番、75 番「中野坂上」、76 番「中野第一」、79 番「中野本町」、97 番「朝日」を引き続き校名候補として協議していく。
委　員
　「もものだい」という読み仮名の 48・49・50・51 番は 13 票ということだったが、どの漢字を使うのか決めなくて良いのか。
委員長
　１３票の内訳を教えてもらいたい。
事務局
　48 番「桃台」が３票。49 番「ももの台」が４票。50 番「桃ノ台」が３票。51 番「桃の台」が３票となっている。
委　員
　今回は３つ選んだが、全部「もものだい」を選んだ人もいるのではないか。
委　員
　３票中２票を「もものだい」に入れた。
事務局
　確認したところ、３票全部入れたという人はいない。
委　員
　そういう人は、漢字はともかく音の響きが良いと思っていれたのではないか。
委　員
　そのとおりで、音の響きが良いと思っている。漢字はどれでも構わない。
委　員
　49 番「ももの台」は平仮名なので、バランスを考えると漢字のものが良いと思う。
委　員
　初めの方に、平仮名の方が良いと言っていた委員もいた。
委　員
　今回漢字まで決めるのは早すぎるのではないか。もう少し考えたい。
委員長
　それでは、「もものだい」の漢字も含めて次回協議していくとうことでよろしいか。
―異議なし―

議事（２）その他

委員長
　本日予定していた議題は以上で終了となる。最後に次回の開催日程について、事務局から説明がある。
事務局
　次回の日程は、12 月７日木曜日でお願いしたい。場所は弥生区民活動センターで行う。
委員長
　それでは、時期が近付いたら開催通知を事務局から送付する。その他に何かあるか。ないようであれば、本日の統合委員会はこれをもって終了する。